

平成 16 年度(第 2 回) 研究開発型ベンチャー技術開発助成事業一覧(単独申請型)

	事業者名 開発期間	事業名	事業概要
1	株式会社イーベック H17.1~H18.10	任意の標的分子に対する完全ヒト抗体作製システムの開発	現在使用されている治療用抗体は全てマウス抗体をスタート材料として複雑な遺伝子組み換えでヒト抗体に似せたものであるが、副作用を完全には排除できない。この解決のために当社はヒト体内で感作された B リンパ球から完全ヒト抗体を作製する技術を確認した。本事業ではこれをさらに進め、従来困難であった免疫原性の低い抗原に対する高活性な完全ヒト抗体を EB ウイルスを用いた in vitro 免疫法で作製する技術を開発する。
2	アイディールブレン株式会社 H17.1~H18.12	アルミニウム薄板を挟んだ L 型金物によるボルト組立・制震構造	循環型の建設システムを目指して、組立・解体自在な L 型金物による無溶接ボルト組立構造であり、かつ振動エネルギー吸収性能に富んだ制震構造を提案する。それら両者を実現するために、アルミニウム薄板を挟むだけで締結強度が 2 倍(ボルト本数を 1/2)にもなり、かつ安価な摩擦ダンパーともなる基本技術を利用する。本助成事業では、この技術を核とするボルト組立・制震構造の建築センター評定を取得し、商品化することを目的とする。
3	株式会社ハイベップ研究所 H17.1~H18.12 (旧:H16.7~18.6)	合成ペプチド誘導体をアレイとした新規プロテインチップの開発	生体内で機能するきわめて多種のタンパク質解析のために高効率な技術確立は急務である。最近、提案者はタンパク質の一部であり生体内分子認識の核であるペプチドをアレイとしてタンパク質を同定するためのフィンガープリント法を発明した。本開発では、デザインしたペプチド群を化学合成したのち、センサー素子として用い、プロテインの検定・同定を可能とするためにペプチドアレイの工業的製法と相互作用の検出法とを確立する。
4	株式会社アルネアラボラトリ H17.1~H18.12	CNT 超小型高繰返フェムト秒レーザによる 3 次元計測装置の開発	自動車産業等では商品の高性能化に伴い製品形状寸法の高精度化が求められ、組立工程中での非接触、高速、広測定範囲、小型な超高精度 3 次元形状計測装置が要求されている。弊社では単層カーボンナノチューブを用い 5GHz 以上の高繰返し超小型ファイバ高性能フェムト秒レーザを世界に先駆けて発明した。これを 10GHz に性能向上してリアルタイムで数メートル以上の遠隔地から測定可能な超高精度 3 次元計測装置を実用化する。

5	株式会社フィルテック H17.1～H18.12	1 チップ無線 IC のための高 Q・高精度・低コストインダクタ製造技術の開発	IC タグや高周波 IC など無線 IC の性能・コストに重要な影響を持つ、電磁結合用アンテナ・コイルとしてあるいは高周波増幅器などの整合素子として、三次元構造の高 Q・高精度インダクタ等の受動デバイスを、能動デバイス形成済みの半導体ウエハ上に配線パターンとともに低コストで製造できる三次元構造加工技術を実現する。この技術が確立すれば、ミリ波帯に至る低損失フィルタ・分配器などの受動素子の製造にも威力を発揮する
6	G&Gサイエンス株式会社 (旧:株式会社アドジーン) H17.1～H18.12	遺伝子解析新規技術による抗酸菌群同定検査および結核菌薬剤耐性検査薬の開発	(株)アドジーンが開発した国産の遺伝子解析新規技術ジェノパターン法により、近年その発生頻度の増加が指摘されている抗酸菌群について、既存の検査法に代わる簡便・迅速な検査法を開発する。また同法を用いて、現在遺伝子解析法による検査法が一部しか確立されていない、結核菌の薬剤耐性検査について、複数の薬剤に対し個別に或いは同時にその耐性状況を解析するための検査法の開発を行なう。
7	有限会社 K&O corporation H17.1～H18.12	連続水平方向エネルギーによる地盤改良の研究開発	今回の開発は、土の異方性に着目し特殊オーガースクリューによる連続的な水平方向の土砂の押し出し量と駆動力の管理、及び、アウトプットとしての地盤密度の管理(RI 測定装置)をデジタル制御する装置の開発により、地盤の状態に左右される事無く、周辺環境を守り掘削残土の排出を少なくして、エネルギー効率のよい、経済的な、地震レベル 2 に対応する液状化対策地盤改良工法を確立するものである。
8	株式会社福田結晶技術研究所 H17.1～H18.12	マイクロ引下法による高性能単結晶材料の量産技術開発	マイクロ引下法は高速結晶製造・偏析現象制御が可能な特徴的単結晶製造法である。加えて当該技術では坩堝形状により単結晶の形状制御も可能であり、シングルプロセスでデバイス形状の単結晶を製造できる。本事業では当該技術を発展させ、高歩留・高再現性実現のための自動制御法および連続チャージ法の確立により、時間とコストを大幅削減させた新規デバイス用結晶製造プロセスを確立する。
9	ゼファー株式会社 H17.1～H18.12	世界最高の性能と実用性をもつ汎用小型風力発電システムの開発	当社は平成 9 年創業以来、独自技術によるユニークな小型風力・太陽光ハイブリッド型発電システムの販売を行うと同時に、その間蓄積された社内技術ノウハウと国内に存在する高度最適技術を組み合わせ、世界最高水準で革新的な上位機種の研究開発を進め今年夏基本動作モデルをほぼ完成、目標とした性能実現の可能性を検証できました。本助成事業は今後これを世界市場を対象に新製品として実用化に向けた開発を進めるものです。

10	株式会社フィアモ (旧: アドテック株式会社) H17.1~H18.12	ウェーハ洗浄液及びエッチング液のオンライン薬液管理システムの構築	半導体製造前工程用高純度薬液の組成比が変化すると最適な洗浄が出来ない上、液中に万一微量金属汚染があれば製品性能に深刻な悪影響を与えてしまう。これら重要因子となる組成比及び金属汚染量をリアルタイム且つ同時に測定可能な超高感度モニタは存在しない。本提案は小型オンライン超高感度モニタを開発し、半導体産業の体質強化への寄与を目的とする。
----	--	----------------------------------	---